

<概要>

- 1日、カストロ大統領は国民向け演説を実施し、その中で主要閣僚3名の交代を発表した。
- 5日、カストロ大統領は、ホンジュラスに来訪したアレバロ・グアテマラ次期大統領（14日に大統領就任式）と会談した。また、14日には、カストロ大統領は、レイナ外相、エクトル・セラヤ大統領私設秘書官とともにグアテマラを訪問し、大統領就任式に出席した。
- 穂坂外務大臣政務官がホンジュラスを訪問し、11日は財政協力に関する署名式出席やレンドン国会議長との会談を行い、12日にはフォンセカ湾を視察した。
- 27日、カストロ大統領の呼びかけにより、政権発足2周年を記念して、与党リブレ党支持者らが大統領府に集結し、ホンジュラス国立自治大学（UNAH）を目的地に大規模デモ行進が実施された。その後、同大学前にて、カストロ大統領の演説を含め、政権発足2周年記念式典が実施された。

<本文>

1 外交

（1）レイナ外相による能登半島地震弔意メッセージ

1月2日、レイナ外相は、SNS上で、今般の令和6年能登半島地震に関する弔意メッセージを発信した。レイナ外相のメッセージをもとに、政府広報紙「民衆の力（Poder Popular）」でも、能登半島地震を伝える記事が掲載された。

（2）アレバロ・グアテマラ次期大統領との会談

1月5日、カストロ大統領は、ホンジュラスに来訪したアレバロ・グアテマラ次期大統領と大統領宮殿で会談した（14日が大統領就任式であったため「次期大統領」と記載）。同会談には、マヌエル・セラヤ大統領顧問、エクトル・セラヤ私設秘書官、ヘラルド・トーレス外務国際協力省筆頭次官らが同席した。

（3）穂坂外務大臣政務官のホンジュラス訪問

ア 1月11日、ホンジュラスと日本は、1億1200万米ドル（そのうち9200万米ドルは借款）の財政協力に関する協定に署名した。同協定の2000万米ドルは、無償資金であり、テグシガルパとエル・パライス県ダンリ間の道路16.3キロメートル地点における橋の建設に活用される。9200万米ドルは借款であり、持続可能な開発に向けた透明性及び健全性向上プログラムに活用される。大統領府で実施されたこの署名式では、日本側は穂坂外務大臣政務官、中原駐ホンジュラス日本国大使、篠 JICA ホンジュラス所長、ホンジュラス側はカストロ大統領、レイナ外相、マーロン・オチョア財務大臣、オクタビオ・ピネダ・インフラ交通大臣らが出席した。

イ 1月11日、穂坂外務大臣政務官、中原駐ホンジュラス日本大使ら日本代表団は、国会にて、レンド国会議長と会談した。

ウ 1月12日、穂坂外務大臣政務官、中原駐ホンジュラス日本国大使ら日本代表団は、フォンセカ湾を視察し、カルロス・ブエソ湾岸公社（ENP）総裁が同行した。

（4）中国による2億8500万米ドルの教育施設修繕無償支援

1月11日、レイナ外相、ダニエル・エスポンダ教育大臣、リカルド・サルガド戦略企画大臣、ワレン・オチョア社会投資基金（FHIS）理事長らは、大統領府で Yu Bo 当地中国大使を含め中国政府代表団と会談を実施し、その後中国政府からの教育施設の改修を目的とした2億8500万米ドルの無償資金協力について発表した。

（5）カストロ大統領のアレバロ・グアテマラ大統領就任式出席

1月14日、カストロ大統領は、レイナ外相、エクトル・セラヤ大統領私設秘書官とともにアレバロ・グアテマラ大統領就任式に出席した。グアテマラ訪問期間中、カストロ大統領は、コロンビアのグスタボ・ペトロ大統領と会談した。

2 内政・経済

（1）主要閣僚3名の交代

1月1日、カストロ大統領は国民向け演説を実施し、その中で主要閣僚3名の交代を発表した。変更があった閣僚は以下の通り。括弧内は就任直前の役職。

ア 財務大臣 マルロン・ダビド・オチョア・マルティネス（歳入庁長官）

イ 保健大臣 カルラ・マリナ・パレデス・レイナス（学校病院（国内最大の公的医療センター）院長）

ウ インフラ公共事業大臣 オクタビオ・ホセ・ピネダ・パレデス（コミュニティ開発・水道・衛生（SEDECOAS）大臣及びホンジュラス社会投資基金（FHIS）理事長）

なお、カストロ大統領からホンジュラス社会投資基金（FHIS）理事長には、ワレン・オチョアが就任すると発表された。

（2）ドライ・チャンネル拡大構想に向けた「太平洋鉄道建設国家委員会」の設立

1月6日付当地各紙によると、2023年12月27日、カストロ大統領は閣僚会議を実施し、そのなかでドライ・チャンネル拡大構想に向けて、「太平洋鉄道建設国会委員会（Comision Nacional para la Construccion del Ferrocarril Interoceanico:CONACOFI）」の設立を承認した。

（3）CICIH 設置に向けたホンジュラス交渉担当者4名

1月14日付当地各紙によると、カストロ大統領は、「汚職・無処罰問題対策委員会（CICIH）」設置に向けて国連との交渉担当者として、レイナ外相、リキシ・モンカダ元財務大臣、マヌエル・ディアス司法長官、マイラ・メヒア弁護士の4名を指名した。

(4) 2024年国家予算承認及び国会理事会メンバー選出

1月16日、ホンジュラス国会において、2024年国家予算が承認され、国会理事会メンバーが選出された。2024年国家予算は、昨年比3.6%増の4071億3750万レンピラである。国会理事会メンバーは、レドンド国会議長、ウーゴ・ノエ・ピノ国会副議長ら主要メンバーの変更はない。

(5) 通常国会開会

1月25日、通常国会が開かれ、カストロ大統領、レドンド国会議長、レベッカ・ラケル最高裁判所長官が演説した。

(6) トンコンティン空港の国営化

1月26日、オクタビオ・ピネダ・インフラ交通大臣は、2月29日からトンコンティン空港の管理をパルメローラ・デ・コマヤグア空港（PIA）からホンジュラス政府が引き継ぐと発表した。当国政府とPIAは、2021年、トンコンティン空港を国内線、パルメローラ・デ・コマヤグア空港を国際線の運航に使用すると契約を定めた。しかし、同大臣は、CA-4協定（2006年にホンジュラス、グアテマラ、エルサルバドル、ニカラグアの大統領が署名した協定で、その結果それらの国民はパスポートなしで同域内の移動が可能）に基づき、中米各国の便は国内線扱いとの判断とし、5月までにトンコンティン空港からニカラグア、エルサルバドル、グアテマラ発着便が運行予定であると発表した。

(7) カストロ政権発足2周年記念式典

1月27日、カストロ大統領の呼びかけにより、政権発足2周年を記念して、与党リブレ党支持者らが大統領府に集結し、ホンジュラス国立自治大学（UNAH）を目的地に大規模デモ行進が実施された。その後、同大学前にて、カストロ大統領の演説を含め、政権発足2周年記念式典が実施された。同式典には、マヌエル・セラヤ大統領顧問、エクトル・セラヤ大統領私設秘書官、レイナ外相、レドンド国会議長らが同席した。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2023年		
	12月	11月	10月
インフレ率（前年同月比）	5.19	5.04	5.84
貿易収支（百万ドル）	—	—	—
輸出（百万ドル）	—	—	—
輸入（百万ドル）	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	7,555.9	7,546.0	7,643.4
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—
為替レート（対ドル月平均）	24.77	24.80	24.78

（出典：ホンジュラス中央銀行）

※貿易収支、輸出入、外国送金は、四半期毎に発表。最新（2023年9月分）の数値は、貿易収支（▲4,209.8百万ドル）、輸出（8,968.4百万ドル）・輸入（13,178.2百万ドル）、外国送金（6,708.8百万ドル）である。

（了）